

- ① 日本の「貯蓄から投資へ」という方針を支える2つの制度について、() に当てはまる言葉を答えなさい。

- (1) (①) は、株式や投資信託の運用益が非課税になる制度で、いつでもお金を引き出すことができるのが特徴です。
- (2) (②) は、自分で作る年金制度のことで、掛金が全額 (③) 控除になるため、税金を安くする効果（節税）が非常に高いのが特徴です。
- (3) (②) で積み立てたお金は、原則として (④) 歳まで引き出すことができません。

こたえ

- ① () ② ()
③ () ④ ()

- ② あるお父さんがiDeCoで年間12万円を積み立てることにしました。このとき、次の問題に答えなさい。

- (1) お父さんの所得税・住民税の合計税率が20%だとすると、iDeCoによる「所得控除」によって1年間で安くなる税金は何円ですか？

こたえ ()

- (2) 新NISAにはない、iDeCoだけの「お金を出す時」のメリットは何ですか？「税金」という言葉を使って説明しなさい。

[]

- ① 日本の「貯蓄から投資へ」という方針を支える2つの制度について、() に当てはまる言葉を答えなさい。

- (1) (①) は、株式や投資信託の運用益が非課税になる制度で、いつでもお金を引き出すことができるのが特徴です。
- (2) (②) は、自分で作る年金制度のことで、掛金が全額 (③) 控除になるため、税金を安くする効果（節税）が非常に高いのが特徴です。
- (3) (②) で積み立てたお金は、原則として (④) 歳まで引き出すことができません。

こたえ

- ① (新NISA) ② (iDeCo)
- ③ (所得) ④ (60歳)

- ② あるお父さんがiDeCoで年間12万円を積み立てることにしました。このとき、次の問題に答えなさい。

- (1) お父さんの所得税・住民税の合計税率が20%だとすると、iDeCoによる「所得控除」によって1年間で安くなる税金は何円ですか？

こたえ (24000円)

- (2) 新NISAにはない、iDeCoだけの「お金を出す時」のメリットは何ですか？「税金」という言葉を使って説明しなさい。

(回答例) 出したお金(掛金)のすべてが所得控除の対象となるため、働いて得た収入にかかる所得税や住民税などの税金を安くできる。